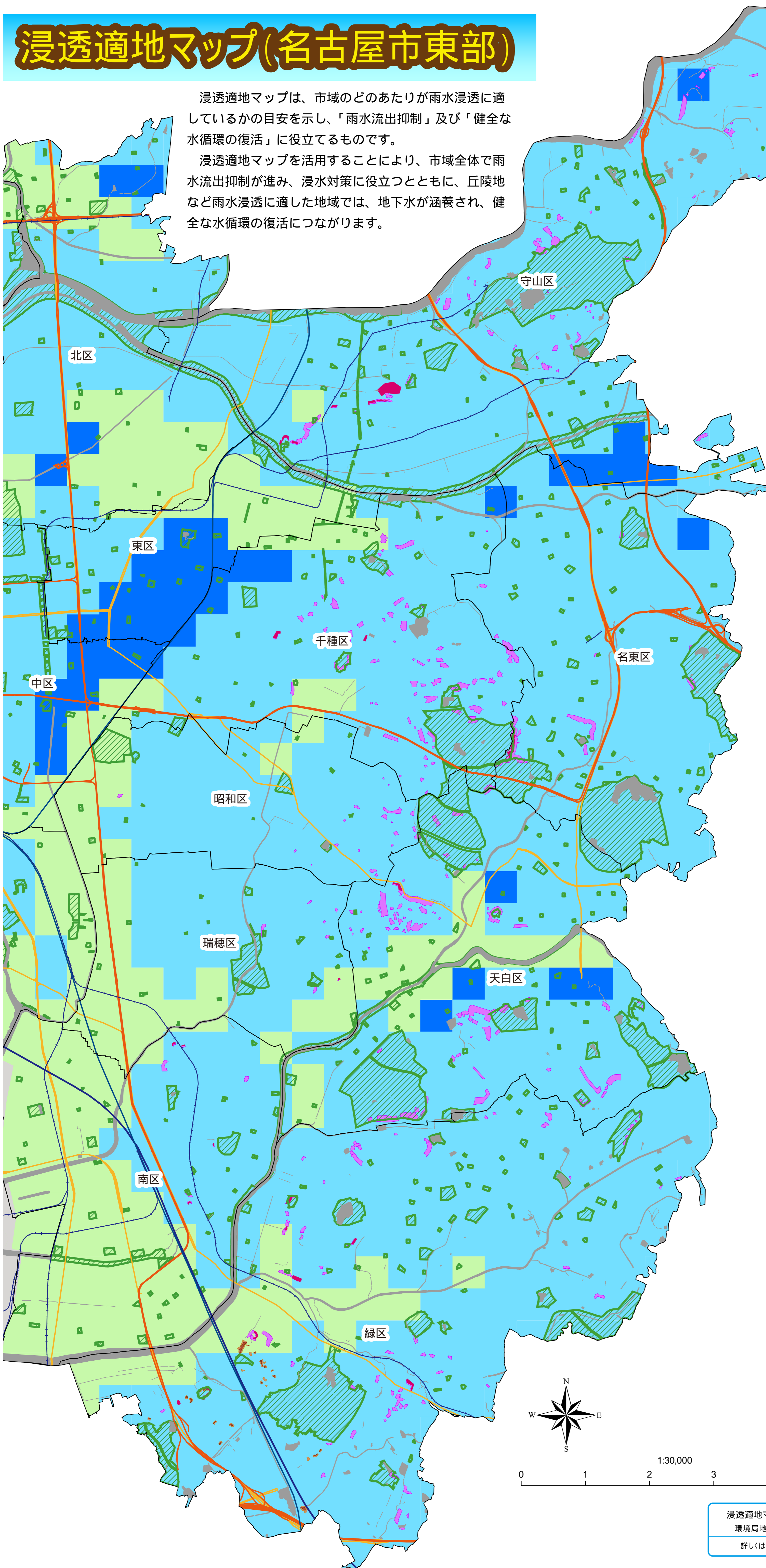


浸透適地マップ(名古屋市東部)

浸透適地マップは、市域のどのあたりが雨水浸透に適しているかの目安を示し、「雨水流出抑制」及び「健全な水循環の復活」に役立てるものです。

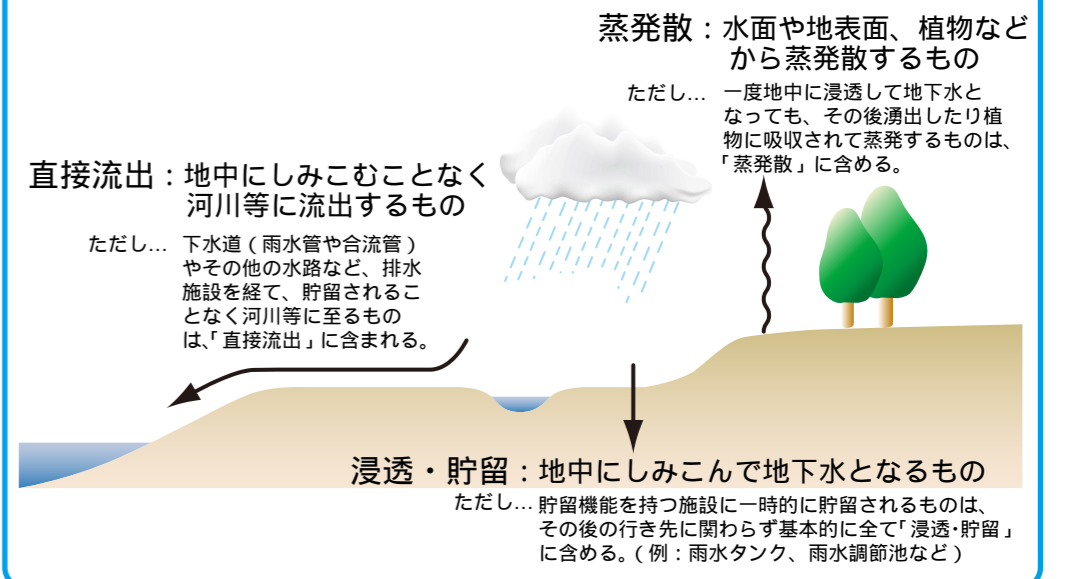
浸透適地マップを活用することにより、市域全体で雨水流出抑制が進み、浸水対策に役立つとともに、丘陵地など雨水浸透に適した地域では、地下水が涵養され、健全な水循環の復活につながります。



健全な水循環の復活

地上に降り注いだ雨や雪は、一部は蒸発し、または一部は地中に浸透します。浸透しきれない分は、地表から河川に流れ、海に注ぎます。地中に浸透した水は、一部は地表や植物の葉からの蒸発散により再び大気に還り、または一部は地下水の流れとなり、ゆっくりと河川や海へと至り、やがて再び湧き出します。このように、水が気体・液体・固体と姿を変えながら地球をぐるぐるめぐめることを「水循環」といいます。

健全な水循環を復活させることにより、浸水被害の軽減・水辺環境の保全・ヒートアイランド現象の緩和などに役立つとされています。健全な水循環を復活させるため、直接流出を減らし、浸透・貯留を増やすことが重要です。



雨水流出抑制

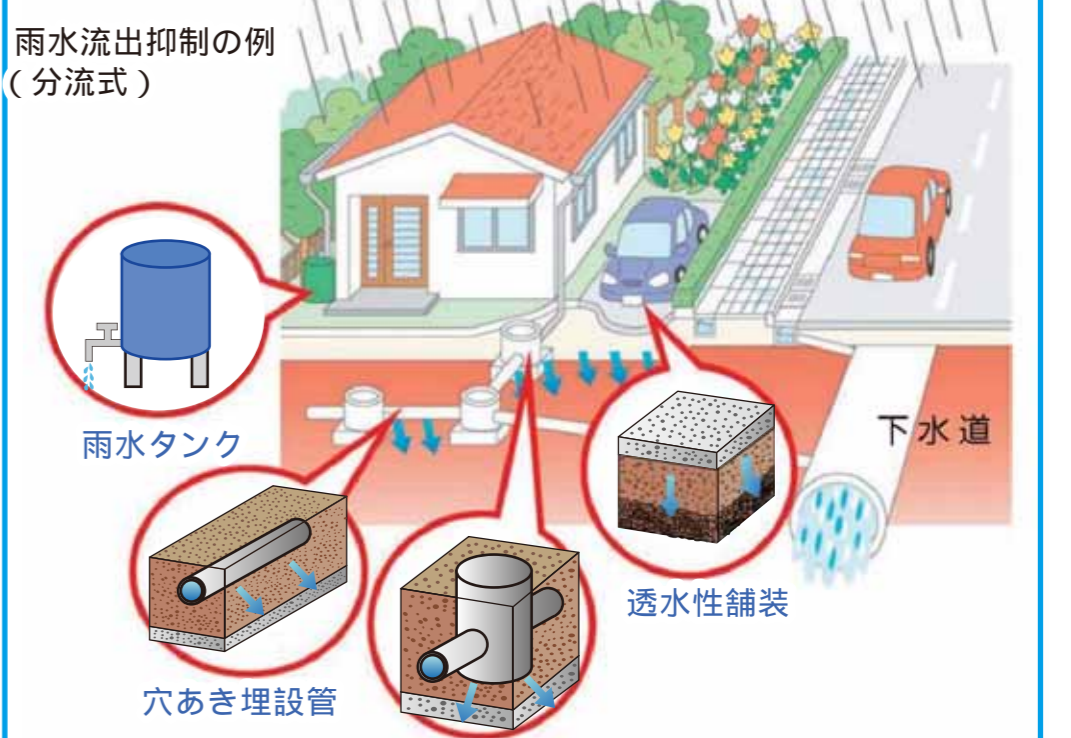
市域では、高度な都市化に伴い、多くの面積がアスファルトやコンクリートに覆われているため、大雨が降ると地中にしみ込まず、あふれやすくなっています(直接流出)。雨水を浸透あるいは貯留することによって、洪水等を防ぐことを「雨水流出抑制」といいます。



市街地では、昔に比べて多くの面積がアスファルトやコンクリートに覆われているため、大雨が降ると雨水が下水管などに集中しやすくなり、浸水に対する安全度があふれやすくなっています。

雨水流出抑制を実施すると、大雨が降ったとき、雨水が下水管などに集中しにくくなり、浸水に対する安全度が向上します。

浸透・貯留施設の設置について



敷地面積100m²あたり4m³を目標にして、浸透・貯留施設の設置をお願いします。

詳しくは下記へお問合せください。
 上下水道局下水道計画課 TEL:052-972-3763 FAX:052-972-0314
 緑政土木局河川計画課 TEL:052-972-2893 FAX:052-972-4125

凡例

最適地	
浸透雨水ます・透水性舗装等の浸透施設の設置に最も適した区域です。	
適地	
浸透雨水ます・透水性舗装等の浸透施設の設置に適した区域です。	
要検討地	
地面の下に浸透施設を設置する場合には十分に調査をしていただき、設置が不可能な場合は貯留施設または透水性舗装の設置をお願いします。	
急傾斜地崩壊危険区域	
土砂災害危険箇所	
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	
*急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律、及び「土砂災害防止法」により設定されています。	
河川・ため池	高速道路
緑地・公園	国道
対象外(埋立地)	J R
区境	私鉄

浸透適地マップは、代表地点での土質調査及び現地浸透試験結果に基づき作成しました。このマップはあくまでも目安ですので、雨水浸透ますなどの浸透施設の設置は、現地での調査を実施してから行ってください。

浸透適地マップ・水循環についてのお問い合わせ先

環境局地域環境対策部地域環境対策課 TEL 052-972-2675 FAX 052-972-4155

詳しくはホームページから <http://www.city.nagoya.jp/>

[浸透適地マップ](#)

[検索](#)